

第4学年国語科学習指導案

日時 平成26年11月7日(金) 公開授業Ⅱ
対象 4年3組 男20名 女19名 計39名
指導者 安本 泉

1 単元名 説明のしかたについて考えよう 「アップとルーズで伝える」

2 単元の目標

| |
|---|
| 第3学年及び4学年目標 目的に応じ、内容の中心をとらえたり段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる。 |
|---|

- (1) それぞれの段落が全体の中でどのような役割を果たしているかを考えながら読むことができる。
- (2) 写真と対応した部分に注意して読み取り、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめることができる。

3 単元の評価規準

| | |
|---------------------|--|
| 観点 | B: おおむね満足できる |
| 国語への 関心・意欲・態度 | 話題に興味をもち、写真と文章を対応させたり二つの段落を対比したりして、内容を読もうとしている。 |
| 読む能力 | 写真の活用、対比・まとめなど、段落相互の関係に気を付けて読み、説明内容と説明のしかた(説明方法)を理解している。(イ) 写真と対応した部分に注意してそれぞれの特徴を読み取り、写真と対応する新聞記事の中心となる語や文を見付け、書き手の伝えたいことを読み取ろうとしている。(エ) |
| 言語についての 知識・理解・技能 | 文と文との意味のつながりの果たす接続語の役割を理解している。(イ(ク)) |

4 単元について

(1) 児童について

児童はこれまでに、3年生の説明文「すがたをかえる大豆」、4年生「動いて、考えて、また動く」で文章構成に着目して学習している。「はじめ」のまとまりには、話題提示や問題提示があり、「なか」のまとまりでは、答えの根拠が論理的に詳しく説明されていること、「おわり」のまとまりでは「はじめ」の答えや筆者の考えが示されていることを学んできた。さらに、「動いて、考えて、また動く」では、筆者の考えを読み取るために、事実と意見の関係をとりえて、段落相互の関係を考えながら学習した。また、文に合わせた図を用いることで、説明が分かりやすくなっていることを理解したり、筆者の意図をとらえ自分の経験と重ね合わせて共通点・相違点を見付けながら感想を書いたりする活動を行ってきた。

本単元では、単に写真と文章の対応だけでなく、二つの段落を対比して述べられていることや、写真から読み取れることが文章で描写されていることなどを意識していく。次単元のリーフレット作りでの作業の具体を見越して、写真と文章の関係を読み取り力が、自分が記事を書くために選んだ写真と文章とをつなげて表現する力になるように指導にあたる。

学級の中には、文章の要点や細かい点に注意して読んだり、段落相互の関係を考えながら読んだりする意識が低い児童もおり、本時では焦点化・視点化を図りながら理解を促す工夫を取り入れていきたい。

(2) 教材について

本単元では、学習指導要領第3学年及び第4学年の「C読むこと」の目標(3)「目的に応じ、内容の中心をとらえたり、段落相互の関係を考えたりしながら読む能力を身に付けさせるとともに、幅広く読書しようとする態度を育てる」を受けて学習活動が設定されている。

本教材「アップとルーズで伝える」では、わたしたちが最もよく目にしているメディアであるテレビの映像技法を中心に述べたものである。メディアを通じて受け取っている情報が、一定の価値判断・意図に基づいて取捨選択されたものであることに気付かせ、相対化する視点をもたせる。本教材は、分かりやすい説明とはどのようなものであるかを学ぶのに適した文章である。

文章の読み取り後、新聞で「アップ」、「ルーズ」の写真が使われている例を見付け、アップかルーズか考える上での書き手が伝えたいことを考える活動がある。教材文だけでなく、実際の新聞を用いて、「相手や目的に合わせて、伝える内容や方法を選ぶこと」を充実させていく。

(3) 指導について

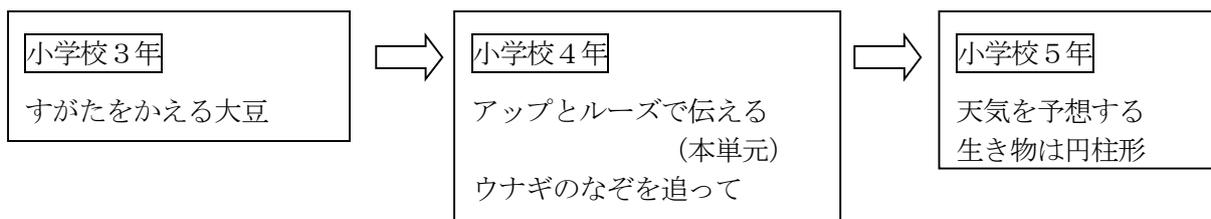
本単元では、写真と文章を対応させて読みながら対比的な段落関係をつかみ、それを含んだ文章全体の構成をとらえていく。写真と対応した部分に注意して読み取り、「アップ」と「ルーズ」それぞれの特徴をまとめていく。

第1次では、教材文を読み、筆者の説明の工夫に関心をもつとともに、「上手な説明のしかたを見つけよう」という学習課題を設定して、学習計画を立てる。

第2次では、全文を読み、筆者の説明の工夫についてまとめていく。段落相互の関係を考えながら読み、文章の組み立てについて考える。さらに、対比しながら述べる説明のしかたをとらえ、文章全体の構成と段落相互の関係を意識させていく。アップとルーズ、それぞれ上下に整理して提示したり、内容の相違点が見分かるよう対比した文を表に整理したりといった視覚的工夫をする。

第3次では、新聞で実際に確かめながら、「アップ」と「ルーズ」の使い分けをとらえさせる。写真と対応する語や文を意識して、書き手が伝えたいことを読み取る力を高めたい。

5 単元の系統と他教科との関連



6 単元の指導計画（7時間扱い）

(1) 単元のねらいを知り、学習の見通しをもつ。

全文を読み、「アップ」と「ルーズ」の意味を知る。 1時間

(2) 1段落～6段落まで写真と文章を対応させて読み、説明とまとめの文の関係から段落の役割に気付く。

1時間

(3) 3段落と1・2段落の関係について、筆者の書き方の工夫を知り、キャプションを考える。

1時間

(4) 6段落と4・5段落の関係について、アップとルーズの相違点を話し合い、段落相互の文のつながりに気付く。

1時間

(5) 6・7・8段落を読み、段落と段落とのつながりを意識して結論部分を読むことを通し、筆者が伝えたいことや述べ方の工夫を理解し、キャプションを考える。

1時間

(6) 文章構成図について話し合い、対比の効果を理解する。

1時間

(7) 実際の新聞の写真と記事を対応させ書き手の伝えたいことをとらえ、次時の活動を意識する。

1時間(本時)

7 本時について

(1) 目標

新聞から写真と記事とを対応させ、書き手が伝えたいことを読み取ることができる。〈読む能力〉

(2) 「自分の考えをもつ^自」「互いの考えを交流する^校」「互いの考えのよさに気づく^気」場面

本時の「自分の考えをもつ」場面は、写真と対応する語や文にサイドラインを引き、記事の要点をとらえる。「互いの考えを交流する」場面では、書き手の伝えたいことを考え、交流し合う。「互いの考えのよさに気づく」場面では、自分たちが考えた書き手の伝えたいことを聞き合い、記事のよさに気付く。

(3) 展開

| 段階 | 学習活動 | 場面 | ○指導上の留意点●評価の観点(方法) |
|----------------------|--|----------------------|---|
| <p>導入</p> <p>7分</p> | <p>1 前時の学習を想起する。 ・「アップ」と「ルーズ」の長所と短所</p> <p>2 本時の学習課題を把握する。 新聞の写真や記事から、書き手の伝えたいことを読み取ろう。</p> <p>3 課題解決の見通しをもつ。 ・2つのデジタル記事を読み比べ、おおよその内容を全体でとらえる。 ※吉里吉里地区の海開きについて A 海で楽しそうに遊ぶ子どもたちのアップの写真と記事(岩手日報社) B 遊泳できる場所をブイで囲み、大勢の人が集まっているルーズの写真と記事(J-CAST ニュース)</p> | | <p>○アップ、ルーズのとり方とそれに対応する文や語について学んできたことを確認する。</p> <p>○デジタル記事を写真と対応しながら読むこと、そこから書き手の伝えたいことは何かを考えることを確認する。</p> <p>○要点をとらえるため、5W1Hを確認する。 ○記事は、実物投影機で写し児童全員がしっかり把握できるようにする。 ○記事は、文章と写真が対応していて書き手の意図が分かりやすいものを選ぶ。 ○自分の考えを明確に表せる学習プリントを用意し、それを手立てに交流できるようにする。</p> |
| <p>展開</p> <p>33分</p> | <p>4 課題を解決する。 (1) 2つのそれぞれの記事から、キャプションを考える。 ①写真と対応している語や文にサイドラインを引く。 ②サイドラインや要点、写真からキャプションを考える。 ③グループで、質問や意見を述べ合う。 ④全体で自分の考えを発表する。</p> <p>(2) 教師からもう一つの記事(C 防波堤の工事をバックに海で遊ぶ子どもの写真と記事(産経新聞社))を提示し、書き手が伝えたいことをとらえさせながら、紹介する。</p> <p>(3) 本時のまとめをする。</p> <p>同じテーマであっても、書き手の(伝えたいこと)によって、使用する(写真)や(文章)が違う。</p> | <p>自 交 気</p> | <p>○交流の中では、自分の考えと比較し共通点や相違点を見出しながら、友だちの考えのよさに気付いたり、自分の考えを深めたりする。 ○写真に対応する語や文を探したり、なぜその写真を使ったと思うかを考えさせたい。 ○新聞の印刷物においても、アップとルーズの効果的な写真の使い方があることに気付かせる。 ●写真と対応する記事の中心となる語や文を見付け、書き手の伝えたいことを考えている。(学習シート) ○書き手の伝えたいことが、これまでの2つの記事とは異なることをとらえさせる。 ○写真と書き手の伝えたいことが対応していることに触れながら紹介する。</p> <p>○児童の言葉でまとめ、本時での学びを児童全員で振り返りたい。</p> |
| <p>終末</p> <p>5分</p> | <p>5 本時の学習をふり返る。</p> <p>6 次時の学習内容を知る。 ・写真と対応した分かりやすい文章でリーフレット作りをすることを確認する。</p> | | <p>○本単元をふり返り、伝えたい内容をよく考えて写真を選択したり、記事を書いたりして工夫していることに気付かせる。 ○次の単元の「仕事リーフレット」を作ろうにつなげる。</p> |

(4) 板書計画

